

令和3年度 ありがとうございました。

今年度も多くのコロナ禍の対応が実施され、子どもたちの生活様式も様々な場面で変化がありました。朝の検温、手洗い、無言給食、等々。「これもしなければならぬのか。(強制感)」「前までは、もっとできていたのに。(不満感)」と、思ってしまいがちな内容も、児童の実態によってはあったかと思えます。1・2年生は、入学当初からの生活様式となってしまいましたが、高学年からしてみれば、その気持ちも十分に理解できます。少しでも、強制感や不満感を子どもたちにもたせないよう、「価値観を共有すること」を大切にしてきました。今この現状の中で、「みんなの安全が守られて安心していられるためには、このきまりを大切にしたいのだ。」という学校としての価値観を、「一緒にやってみよう。」「こうしていこうよ。」というスタンスで子どもたちに伝えることです。新しい生活様式をきちんと守れた場面を、ほめて価値付けることで、ますます取り組ませるよう仕向けたり、周りの子に真似させるよう仕向けたりしてきました。子どもたちから発信できる場や機会をつくり、子どもから呼びかけることもしました。あの手この手で、試行錯誤しながら指導を進めてきました。

行事の急な変更が重なることもありしました。変更を残念に思ったり、先が見通せないことで、焦りを感じたりしている子どももいたようです。お休みをされていて、久しぶりの登校に戸惑い、不安を感じている子どももいます。丁寧に実態を把握していき、全教職員で支えてきました。

保護者の皆様には、毎日の健康観察や、体調管理にご協力いただきありがとうございました。地域の方々には、毎朝の登校時だけでなく、様々な場面で金小の子どもたちを見守っていただきました。本当にありがとうございました。多くの方々の支えの中、子どもたちは元気に登校することができました。

6年生を送る会 3月9日(水)

「6年生を送る会」、5年生が中心となって企画運営しました。6年生に感謝の気持ちを伝えるために各学年は出し物を計画し、発表しました。感染対策のため、学年ごとに入れ替わって体育館で発表しました。他の学年の発表は、各教室でリモート見学でした。クイズや踊り、なわとび対決など、各学年が工夫を凝らして、素晴らしい発表でした。この日に向けて一生懸命に練習を重ねてきた1年生から5年生の姿が、学校を支えてきた6年生への感謝と励ましになりました。最後は6年生による素晴らしい手話で締めくくり、卒業生が巣立っていく日が近いことを実感しました。



金小の子どもたちは何事にも一生懸命取り組みます。様々なことにチャレンジする姿が見られます。チャレンジには失敗もつきものですが、失敗から学び、立ち直す経験こそがとても大切です。[最近、レジリエンス(しなやかに立ち直る力、ストレスに適応する力)の重要性についてよく取り上げられます。]そして、大人が子どもに、前のあなたより今のあなたが成長していることを具体的に伝えることが大切だと思います。子どもの成長にかかわれる、一人一人の成長を応援できる一人の大人として、私自身これからも学ぶ楽しさを伝え、具体的にほめ、励まし、子供と共に成長していきたいと思えます。

令和3年度も本当にありがとうございました。引き続き来年度もよろしくお願いいたします。